あかびら市議会
かわら版
No. 68

第二回定例会

第2回定例会は、6月15日から23日までの9日間の日程で開催され、令和5年度一般会計補正予算案のほか、条例改正案や副市長の選任などの議案21件、意見書案6件を審議しました。全ての議案が全会一致で可決となりました。また、株式会社赤平振興公社の経営状況についての報告を報告済としました。

会派・諸派の代表5名がそれぞれ22日23日に改選後初の一般質問をしました。

（内容は3ページ以降に抜粋を掲載）

本会議の様子

予算審査特別委員会の様子

カフェ議会開催のお知らせ

市議会が市民の声を聴きに行きます。

コーヒー、お茶などを飲みながら意見交換を行う

Cafe議会が4年ぶりに行われます。

たくさんのご来場お待ちしております。

日時　8月22日（火）

10:00～16:00

場所　交流センターみらい2階ギャラリー

会派紹介

新政クラブ

会長
御家瀬　遵

副会長
安藤　繁

幹事長
竹村　恵一

会計
渡部　修之

北市　勲

民主クラブ

会長
若山　武信

幹事長
伊藤　新一

新しい会派（諸派）の構成を紹介します。

諸派紹介

日本共産党

木村　恵

公明党

丸山　勝正

参政党

今野　宙

５月１６日に第２回臨時会が行われ議会人事が下記の通りとなりました。

《議会人事》

議　　長　：竹村　恵一

副 議 長　：伊藤　新一

監 査 委 員：御家瀬　遵

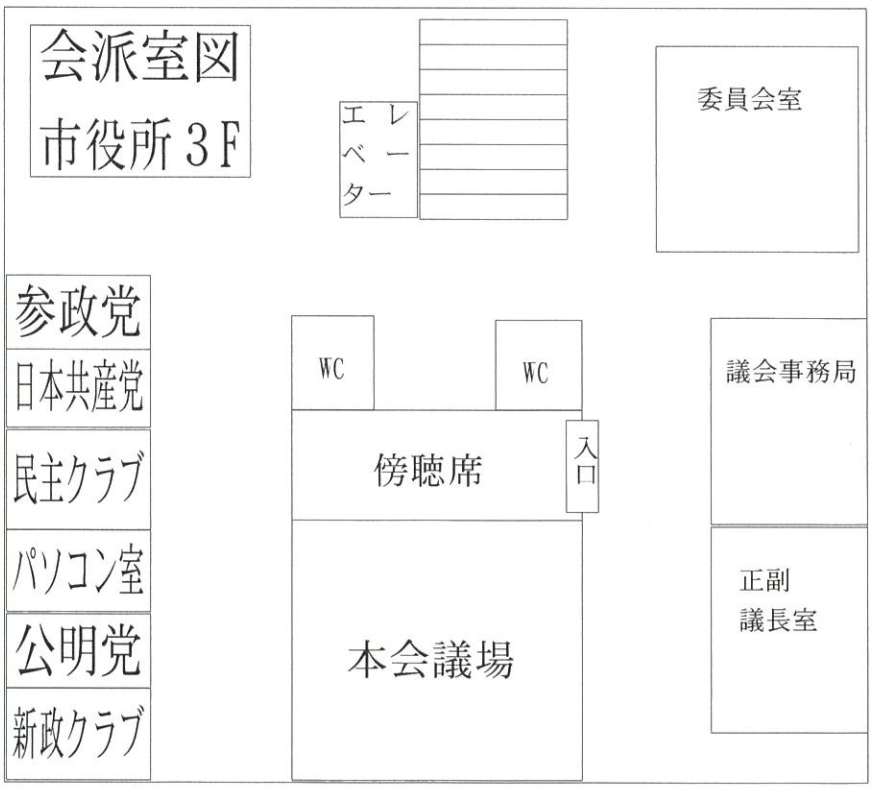
議会運営委員会委員長：安藤　繁

副委員長：丸山　勝正

行政常任委員会委員長：木村　恵

副委員長：渡部　修之

会派室図 市役所３F



日本共産党

木村　恵

健やかな暮らしをともに支え合うまちについて

【質問】子育て支援について、多岐にわたる子育て支援を進めていく上で、まずは子育て部門の一元化に取り組む必要があると思うが、この4年間でそれを行う考えがあるのか伺う。

【答弁】子ども家庭庁設置法など関係法令が整備されたこともあり、子育て支援に関する部署も新たな位置づけの検討をしなければならないものと考えている。また、市役所全体の機構についても見直しをしていかなければならないものと考えている。

【質問】地域医療について、市民の不安は救急など診療科が縮小になってしまわないかという事が大きいと思う。救急や小児科など診療科の維持存続についての考えを伺う。

【答弁】医師をはじめ医療従事者の確保は診療科の維持に大変大きな要素となるため、引き続き人材確保に努めていく。また、近隣医療機関とも連携を密にし、切れ目のない医療サービスを提供できるよう診療科の維持も含めて考えていく。

ともに学び合い豊かな心を育むまちについて

【質問】これまでは立坑櫓について見守り保存の方針が示され、安全対策に限定された緊急的改修のみとすることや、大規模な公園構想は凍結という考え方で進められてきたと思う。2期目にあたり、この炭鉱遺産の保存・継承に対する方針について考え方を伺う。

【答弁】これからの4年間については、建物の劣化が進んでいることから見学者の安全対策に限定した緊急的改修については行っていきたいと考えている。しかし大規模となる長期的改修等については、立坑櫓価値評価等調査の結果を市民に情報提供したうえで、市民説明会を開催し、その議論の結果を踏まえて検討していきたいと考えている。

参政党

今野　宙

所信表明について

【質問】癌検診、食生活改善、血圧管理に関する啓発を行うとあるが、赤平市として市民に対してどういった方向性の情報提供、啓発を考えているのか伺う。

【答弁】現在、赤平市の健康課題として、65歳未満の死亡率が、全国、全道より高い状況にある。死亡の原因としては、癌、心疾患、脳血管疾患など生活習慣病によるものが大半を占めており若い世代からの対策が重要と考えている。市民に対する情報提供、啓発の方向性について、赤平市における検診については、各種受診勧奨や、休日実施などに取り組んでいる。また、食生活の傾向として野菜摂取量の不足や塩分過多の傾向があるため、集団健診会場や地域での健康教室において、改善に向けた生活に取り入れやすい工夫を栄養士や保健師などの専門職と個別に考える時間を設けている。

教育行政執行方針について

【質問】教育環境の充実（心の教育の実施）について伺う。

【答弁】赤平市内小中学校の心の教育については、学習指導要領における特別の教科、道徳の授業を中心に進めている。授業は、学校の教育計画に基づいて教科書で学び、日本国において、これまで受け継がれ共有されてきたルールやマナー、社会において大切にされてきた様々な道徳的価値などについて、児童生徒の発達の段階に即して理解し、様々な角度から考え、自分なりに考えを深めて道徳性を身に付けている。市教委として、道徳教育は、教育の中核をなすものであり、学校における道徳教育は、学校のあらゆる教育活動を通じて行われるべきものであると考え、小中学校の特別の教科である道徳の授業が一層充実するよう支援していく。

民主クラブ

若山　武信

健やかな暮らしをともに支え合うマチについて

【質問】各自治体にて高齢者は増えるが介護予防関係の職員やサポーターが不足とのこと。当市の実情と今後への対応について伺う。

【答弁】当市の登録エリアサポーターは184名。今後は高齢化に伴い退会者増も考えられ、養成講座の開催や活動支援など社会福祉協議会と取り組み、エリアサポーターのモチベーション維持向上の仕組み、若い世代の参加等に対して検討していく。

安全・安心で快適に暮らせるまちについて

【質問】今後当市は浄水場を建て替えるのか、広域の水道組合に加入するのか、水道施設における将来の見通しについて伺う。

【答弁】浄水場の更新については、鉄筋コンクリート造り建物耐用年数50年に更新基準の率1．4を乗じ建設後70年の2046年、令和28年を経営戦略における更新時期と考えており、広域と単独の選択肢があるが多額の事業費となるため、方向性を示す時期は明言できないが慎重に検討する。

活力に満ちた魅力あふれるまちについて

【質問】人口減少や後継者不足が心配される中、今後、商業団体との連携にどのような推進策をもって取組むのか伺う。

【答弁】商店街検討会議の中で商店街の美化や空き地活用、後継者問題についても商店街・商工会議所・行政との間で意見交換を行い、事業の実施に向け協議を予定。

【質問】「ゆったり温泉」の露天風呂を拡大改修し、更なる集客向上に努めるべきと思うが、考え方を伺う。

【答弁】露天風呂やサウナは、温泉施設の集客にもつながるため、今後近隣施設との差別化など本市の財政状況も見ながら改修時期を検討していく。

新政クラブ

御家瀬　遵

安全・安心で快適に暮らせるまちについて

【質問】上水道についてはアセットマネジメントの具体的な内容と、赤平市水道事業の今後の運営を、どのように進めるのか伺う。

【答弁】アセットマネジメントに基づき「経営戦略」を策定した。主に施設の老朽化、経営状況等を踏まえ、計画期間を13年間と設定し整備計画財政計画を定めている。浄水場については、令和28年を更新時期と考える。

【質問】水道施設の状況把握等について伺う。

【答弁】当市の水道は取水施設1か所、浄水場1か所、配水池6か所で供給している。今後も管路の更新、施設の点検を行い水の安定供給に努める。

【質問】住み替えをスムーズに促進できる移住要件の具体策と、今後の4年間での戸数の確保と、棟別移転集約を考えているのか伺う。

【答弁】令和8年167戸の管理戸数と限界住棟の72世帯に対し移転集約を進めている。

【質問】民間住宅には助成事業が行われている。これらの事業の移住・定住や雇用の確保における実績について伺う。

【答弁】民間賃貸住宅の家賃助成の実績は開始以来180世帯280名の移住、平成29年までに助成満了世帯のうち20世帯41名が定住している。昨年度は就職された方の8割が、市内に勤めている。

ふれあいと交流で創る協働のまちについて

【質問】旧3小学校活用検討会議の状況と進み具合い、民間事業者との対話状況を伺う。

【答弁】旧校舎活用の前例となる平岸コミセンを利用している平岸地区の方と意見交換して町内会等地域の方との情報共有と意見をいただく。

豊かな心と健やかな体の育成について

【質問】「不登校傾向児童への対応」、「いじめの未然防止について」教育委員会としてどのような対応を進めていくのか伺う。

【答弁】市教委配置の指導主事と共に各校長より報告を受け、教職員の研修計画等の状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行う。

公明党

丸山　勝正

地域福祉の充実について

【質問】除雪費助成事業の助成増額を検討してほしい。

【答弁】町内会の中に増額を望む声があることも承知しているが助成増額は今後の燃料価格の推移を見て研究する。

商業振興について

【質問】たすけ愛商品券の発行について今期の交付はあるか伺う。

【答弁】本年はスーパープレミアム付商品券のプレミアム分を１５００万円に増額し市内の消費喚起と地域商業の活性化を図る。

観光の振興について

【質問】エルム高原の今後の展開と移住定住のプロモーションを伺う。

【答弁】移住定住や交流人口の増加につながるよう赤平振興公社と連携を図りＰＲする。

【質問】ゆったりのリニューアルに家族風呂のような個室を望む声もあるが、考えを伺う。

【答弁】施設改修については利用者ターゲット、近隣施設との差別化が重要。市民に愛される温泉施設として検討する。

ふるさと納税について

【質問】リピーターに定住・移住につながるアプローチをしているか伺う。

【答弁】本市に滞在型の返礼品もある。訪れていただける取り組みを検討する。

社会教育の推進について

【質問】近隣が取り組んでいる読書通帳のような子供の読書に対する意欲向上の取り組みについて伺う。

【答弁】こどもお楽しみ会や朗読会等の行事で読書の楽しみを伝える。

【質問】今年度の音楽鑑賞会の具体的な計画を伺う

【答弁】９月23日にみらいで弦楽四重奏の音楽鑑賞会を企画している。

全国市議会議長会より表彰を受けました。

竹村議長（正副議長４年）

北市議員（議員20年）

第30回中空知ふるさと市町村圏議員交流会

７月５日　赤平市・　歌志内市

標記の交流会が４年ぶりに開催されました。

講演会は、赤平市交流センターみらいにおいて、一般社団法人Ｗｅｌｌｂｅ Ｄｅｓｉｇｎ理事長の篠原辰二氏より、「災害時における被害の拡大防止に向けた自助・互助・共助・公助の推進」と題して講演をして頂きました。

過去の災害の教訓は重要であり、避難支援から生活再建までの一連の支援については、外部支援機関と自治体などが連携することが円滑な住民支援につながるなど、社団法人が実際に行ってきた連携実例の詳細を含めてお話を頂きました。

その後、歌志内市に移動し、議員同士や各市長・町長との交流が図られました。

講演会の様子

交流会の様子

議会の動き

5／　9　全員協議会
5／16　赤平市議会第２回臨時会
〃　行政常任委員会
〃　議会運営委員会
5／18　北海道市議会議長会春季道央支部協議会（芦別市）
5／23　北海道市議会議長会監事会・正副会長会議及び役員会（北見市）
5／25　中空知衛生施設組合議会第１回臨時会（滝川市）
〃　石狩川流域下水道組合議会第１回臨時会（滝川市）
〃　滝川地区広域消防事務組合議会第１回臨時会（滝川市）
5／26　中空知広域市町村圏組合議会第１回臨時会（滝川市）
〃　中・北空知廃棄物処理広域連合議会第１回臨時会（滝川市）
5／30　第８６回北海道市議会議長会定期総会（江別市）
6／　2　空知教育センター組合議会第１回臨時会（滝川市）
6／12　議会運営委員会
6／14　第９９回全国市議会議長会定期総会（東京都）
6／15　赤平市議会第２回定例会（～２３日まで）
〃　予算審査特別委員会（正副委員長互選）
〃　議会運営委員会
6／16　予算審査特別委員会
・赤平市高等学校等通学費等支援条例の一部改正について
・赤平市学校給食費の管理に関する条例の一部改正について
・令和５年度赤平市一般会計補正予算
6／21　行政常任委員会
・赤平市税条例の一部改正について
・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
・赤平市介護保険条例の一部改正について
7／　5　中空知ふるさと市町村圏議員交流会（歌志内市）
7／10　根室本線対策協議会総会（富良野市）

◎意見書６件可決

全会一致での採択6件
＊地方財政の充実・強化に関する意見書
＊２０２３年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
＊義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書
＊全国一律最低賃金制度の実施と中小企業への支援を求める意見書
＊学校給食無償化の早期実現を求める意見書
＊新型コロナウイルス対策に対する適切な対応を求める意見書

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

編集後記

5月に統一地方選挙が行われ、赤平市議会も新しい顔ぶれとなりました。

これから4年間、それぞれの議員が市民の負託に応えるべく議会活動をしていきます。議会の情報を市民の皆さんに伝えるこのかわら版も新しい編集委員会で工夫しながら見やすく、わかりやすいものにしていきたいと思います。

7月には4年ぶりに通常開催のあかびら火まつりがあり、花火大会には多くの方が赤平に来られました。市民の皆さんも楽しまれたと思います。

赤平市議会も8月にコロナで自粛していた「カフェ議会」を久しぶりに開催しますので、多くの市民の皆さんの来場をお待ちしています。（木村）

かわら版編集委員会
委員長　木村　恵
安藤　繁
今野　宙
丸山　勝正
若山　武信
渡部　修之

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。